学校番号	１００７

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	書道Ⅲ						
使用教科書	「書Ⅲ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・『書Ⅰ、Ⅱ』で培った書能力やスキルまたより多くの古典を臨書し学習したことをもとに、より書の知識や能力をより一層伸長し、自分の能力を最大限いかした創作作品を制作する。
・より多くの展覧会等の書作品の鑑賞と批評などにより、芸術を愛する心情を育成し自身の表現力を向上する。
・書をはじめとしたコンクール出品により、書に対する意欲の向上をはかる。

２　学習の到達目標

・書道における幅広い創造的な活動をとおして，生涯にわたり書を愛好する心情と広い視野から書の文化や伝統を尊重する態度を育てる。
・書を理解しこれを楽しむ態度をとおして感性を磨き，個性豊かな書の表現と鑑賞の能力をより一層高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(第1ターム)	漢字を学ぶ(各書体の学習から原寸大臨書へ)	漢字の学習 ・各自選択の古典を4文字～6文字臨書を半紙に行う ・半紙への臨書から小筆での原寸大臨書を行う。 ・画仙紙への臨書を行うとともに完成作品の鑑賞、意見交換を行う。	○			○	a:積極的な表現技法や特性を臨書をとおし高めようとする。 b: 選択した古典の表現をよく観察し積極的に臨書することにより書表現やスキルの向上をはかる。 c:原寸大臨書により自身の能力をいかした創造力を養う。 d:他の生徒作品の鑑賞および感想を積極的に述べ合い自他共に認め合う力をつける。	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
前期(第2ターム)	仮名の書	・多くの仮名古典作品をスライドやIT機器を使用し鑑賞する。 ・単体と連綿　散らし書きと用紙の工夫などかな独特の表現テクニックを学ぶ。 ・大字仮名作品の制作 ・相互鑑賞会	○		○	○	a:臨書・創作作品を古典を中心に鑑賞し感じた意見を述べ合う。 b:基本的な用筆方法および連綿技法を理解し、表現を工夫する。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用するなどあたりなどの用筆方法を大字仮名で身に付ける。 d:大字仮名の表現の工夫を知り、そのよさや美しさを味い自他共に認め鑑賞を行う。	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
後期(第3ターム)	漢字かな混じり作品(少字数作品の創作)	・卒業をひかえ高校三年間の自分のよい点を自身で発見させ言葉に表す ・短い言葉で表現する。 ・半紙に練習 ・表現は墨色や潤渇を考える。 ・紙面と文字のバランスなど 1.2 タームで培った能力をいかす。 ・グループを作りより中身の濃い批評や意見を述べ合う。	○	○		○	A高校三年間で自分の良いところを大字で表現する。静と動のたくみな表現。 b:言葉をきちんと整理しその言葉にあった表現ができている。 c:漢字と仮名のバランスや紙面構成などをきちんと理解し表現できているか？ d:自他共に認め合い自分が活かせる表現ができているか？	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

後期(第4ターム)	今まで学習した様々な書体や文字をの上手な表現と調和をもちいて長文の漢字仮名まじり文の作品を制作する		○	○	○	○	a:3タームの漢字かなまじり文をうまく活用し長文で調和させ表現できているか。また自分自身の表現を用具用材をうまく組み合わせ意欲的に取り組めている。 b:漢字とかなの調和について考えた言葉とよくマッチし考えられて制作されている。 c:言葉や表現に応じた用具用材の使用を駆使し考えたような作品を制作している。 d:作品の実用性や利用法をよく考慮し活用した表現ができており意欲を持って取り組んだ作品を自他共に鑑賞、批評、意見交換ができているか。	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。